

## 新規選定① 重厚な江戸時代の町家が軒を連ねる伊勢街道沿いの商家町

### 五條市五條新町伝統的建造物群保存地区

所在地 奈良県五條市五條1丁目、本町2丁目、新町1丁目、新町2丁目、  
二見1丁目及び二見4丁目の各一部

面積 約7.0ヘクタール

五條市は奈良県中西部、大和盆地の南西に位置し、北は大阪府、西は和歌山県に接する。市街地の大部分は市域北部を西流する吉野川（紀ノ川）北岸に広がる。

この一帯は、古くより大和と紀伊・伊勢を結んだ交通の要衝で、関ヶ原の戦い後は、慶長13年（1608）に松倉重政が一万石で入部し、五條二見藩が成立した。

この頃、現在の五條の地では、既に町場が成立していたとみられ、この町場と二見城を結ぶ直線道路に沿って町割が実施されたのが新町である。元和2年（1616）、重政が肥前日之江城へ転封されると、その後は天領に編入された。

江戸時代を通じて五條と新町は伊勢街道沿いの宿駅として賑わい、五條代官所の設置以降は、金融業等で栄え、南大和地域の中心的な商家町として繁栄した。街道沿いには江戸時代を通じて漆喰塗込めの重厚な町家が建てられ、吉野川沿いの敷地背面では、川の氾濫に備えて石垣が築かれた。

保存地区は、国道168号以西に広がる江戸時代の五條南西部と新町の全域を含む範囲で、地区内には、慶長12年の重要文化財（建造物）栗山家住宅をはじめ、江戸時代から昭和戦前期に至る各時代の町家が残り、伊勢街道沿いに残る寺社とともにまとまりある町並みを形成している。

町家の主屋は、切妻造、平入が基本で、本瓦もしくは棧瓦を葺き、江戸時代のものは登り梁を用いたつし二階建が多い。外壁は軒裏まで漆喰で塗込めた大壁造とし、両袖に袖壁を持つものもある。吉野川沿いに面した街道南側の敷地では、背面に石垣を築き、町並みを特徴づける川沿いの景観を形成している。

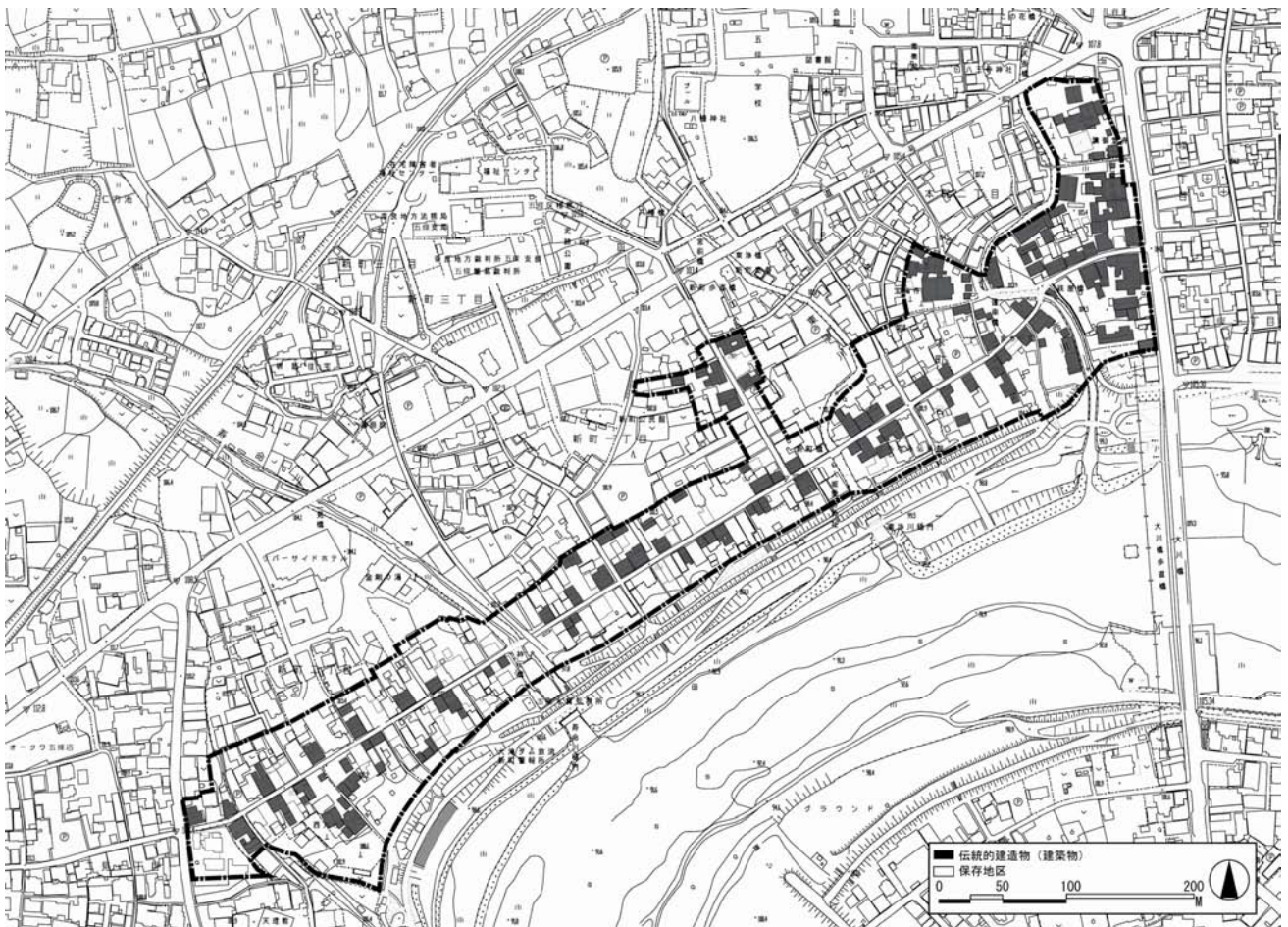
五條市五條新町伝統的建造物群保存地区は、近世前期までに成立した町割を良く残し、江戸時代の重厚な町家が多く建ち並ぶ密度の高い町並みを形成し、南大和地域に栄えた商家町としての歴史的風致を今日に良く伝え、我が国にとって価値が高い。



五條の町並み



新町の町並み



追加選定① 倉吉陣屋の町人地として、打吹山北裾に栄えた商家町

くらししゅうつぶきたまがわ  
**倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区**

所在地 倉吉市とぎやまち研屋町、うおまち魚町、ひがしなかも東仲町、にしなかも西仲町及び西町の全域並びにさかいまち堺町 1 丁目、  
しんまち新町 1 丁目、しんまち新町 2 丁目及びしんまち新町 3 丁目の各一部  
面積 約 9. 2 ヘクタール（うち拡大 4. 5 ヘクタール）

倉吉市は鳥取県のほぼ中央部に位置し、市内には国衙や国分寺、国分尼寺の遺跡があり、古代の伯耆国の中心であった。倉吉の地名は戦国時代の天正年間が史料上の初見で、この頃に打吹山城の城下として、町の骨格が形成されたと考えられる。江戸時代には鳥取藩の倉吉陣屋が置かれ、商工業都市として繁栄した。

平成 10 年 12 月に重要伝統的建造物群保存地区に選定された区域は、面積約 4. 7 ヘクタールの範囲で、かつての陣屋跡北側の町人地に位置する。本町通りとその北側の新町通り、本町通りの東端で北に折れ曲がる堺町通り沿いに町家の主屋が全体に密度濃く残り、本町通りと新町通りの間を流れる玉川沿いにも土蔵群や石橋が残る。

前回の保存地区決定の際から、本町通りが続く地区西側にも、伝統的建造物の集積があることが知られていたが、アーケードの架かる商店街であったこともあり、保存地区には含められなかった。平成 19 年にアーケードが撤去され、改めて見直し調査を行ったところ、現在も伝統的建造物がよく保存されていることが判明し、地区拡大の準備が整った。

今回の拡大によって保存地区は、面積約 9. 2 ヘクタールの範囲となり、旧倉吉陣屋周辺の町人地のうち東約 3 分の 1 を占めることとなった。既選定地区同様に、拡大される地区でも本町通りに沿って、江戸時代から近代にかけての町家が軒を連ね、本町通り北側を流れる玉川沿いには石橋や石垣が残る。

町家の主屋は、石州瓦の棧瓦葺・平入の形式を基本とし、江戸時代のものは前面二階の柱が一階より半間後退するが、明治期以降は前面柱を通し柱として、腕木庇を取り付ける。庇前面は出桁の構えとし、腕木は海老虹梁型のものが使われ、意匠上の特徴になっている。

倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区は、江戸時代から明治・大正期にかけて商工業都市として繁栄し、多様で質の高い意匠を持つ町家が建ち並ぶ本町通りの景観と、土蔵群と石橋が連続する玉川沿いの景観からなり、拡大された地区を含む全体として特色ある歴史的景観を良く伝え、我が国にとって価値が高い。





倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区の範囲

